

< 学校教育目標 > 地域とともに 明るく元気に生きる 明生の子

鈴鹿市立明生小学校

二学期が始まりました。今年も暑すぎる夏となりましたが、充実した時間だったでしょうか。 こかっき ほんこうきょういくかつどう 今学期も本校教育活動へのご理解とご支援をよろしくお願いします。

■ サマースクール

7月26日(土)に学校運営協議会の企画、地域協働活動委員会の方々のお世話でサマースクールが実施されました。企画の意図としては、夏休みの思い出の一つとなることと子どもたちの登記書への動機づけです。保護者アンケートからも子どもたちの読書の状況は良いとは言えないようです。この日がきっかけとなり少しでも読書に取り組んでくれることを期待します。

今年度の内容は、地球温暖化防止活動推進センターの方による講話と工作教室、図書巡回指導員による読み聞かせと読書カレンダー作り、本校職員からの図書の紹介と休憩時間のお楽しみのかき氷がありました。

こんがっき がっこうきょういくかつどう 今学期も学校教育活動へのご理解とご協力をお願いします。

工作では牛乳パックのリサイクルでぶんぶんゴマを作りました。コマを2色で塗分けるのですが、その2色を直ぐに決めて塗り始める子、時間をかけてじっくり決める子など個性が表れていました。













■ 第3回 学校運営協議会

8月25日に第3回学校運営協議会がありました。今回は全国学力学習状況調査の結果の報

こく こじっ がっこう 告(後日、学校だよりとして配付します)と委員と教職員とのワークショップ形式での懇談会を じっし 実施しました。

懇談のテーマは「非認知能力を育むために何ができるか考えよう」でした。委員と教職員が4つのグループに分かれて意見交流をしました。立場や経験の異なるメンバー構成となったこともあり、「へーっ」という声や和気あいあいとした笑い声が聞こえてくるワークショップでした。

そこから出てきた意見としては、「正しい自己肯定感を育むことが大切、そのためには『良い

ことは良い、悪いことは悪い』と適切に評価することが必要」「子ども同士で認め合える関係が大切」「コミュニケーションを取ることが大切」などがありました。

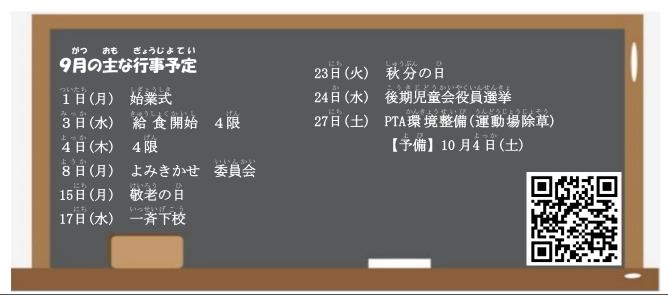
学校だけでは非認知能力を育成することは難しいので、各家庭・地域と連携しながら取組を進めることが大切であることが確認されました。



■ PTA・明生ソフトボール・明生サッカー・おやじの会のご 支援を受けての草刈り

おいます。 もくぜん ひか がっ にち ど ちいききょうどうかっとういいんかい はたち 新学期を目前に控えた8月30日(土)に地域協働活動委員会の働きかけでPTA、明生ソフト、明生サッカー、おやじの会のご協力を得て運動場の除草作業を実施しました。

子どもたちもたくさん参加してくれた中、作業開始時点ですでに気温は30℃を超えていました。約1時間の作業で運動場がずいぶんきれいになりました。二学期が始まるに当たり、運動場で子どもたちが気持ちよく活動できるようになりました。ありがとうございました。



http://www.edu.city.suzuka.mie.jp/esmeisei/

TEL:059-378-4320 FAX:059-378-1758